

住団連

豊かな住生活をめざして—

平成31年3月号 Vol.304



一般社団法人
住宅生産団体連合会

ホームページに全文掲載しています ホームページ <http://www.JUDANREN.or.jp>

◇住宅業況調査 (平成30年度 第4回) 報告

この調査は、住団連会員各社の全国の営業責任者に対しアンケート調査したものである。

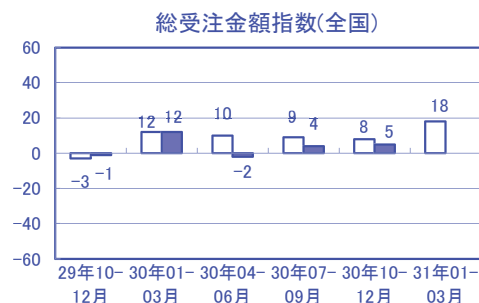
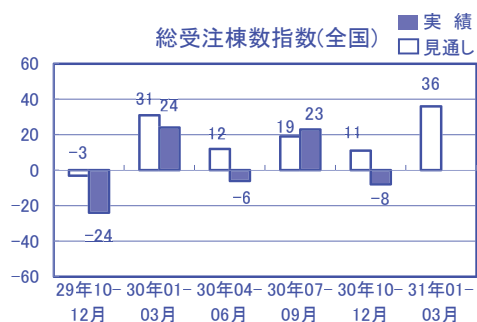
調査内容は、各項目について、ある四半期の実績がその直前の四半期実績と比較して、上がったか下がったかを5段階で評価したものと、次の四半期の見通しを5段階で評価したものである。報告では、この評価ポイントを数式にかけ指数化している。

※指数は最大「100」、最小「-100」で表示される。例えば、全回答が「10%程度以上良いまたは悪い」の場合、指数は100または-100となる。また、「5%程度良い又は悪い」の場合、50又は-50で表示される。

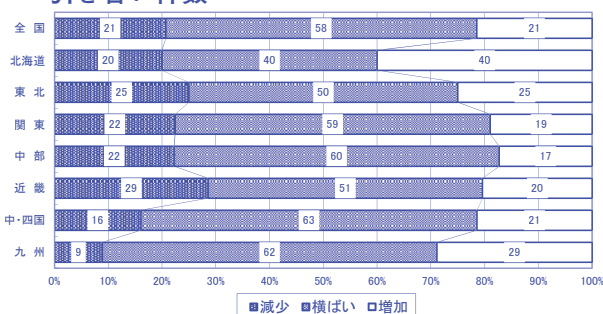
今回のアンケート回答数は、「戸建注文住宅」が382事業所、「低層賃貸住宅」が139事業所であった。さらに、戸建注文住宅については「顧客動向」を、低層賃貸住宅については「顧客動向、市場動向」を調査している。

「戸建注文住宅」

◎対前四半期比 受注棟数・金額の指数動向

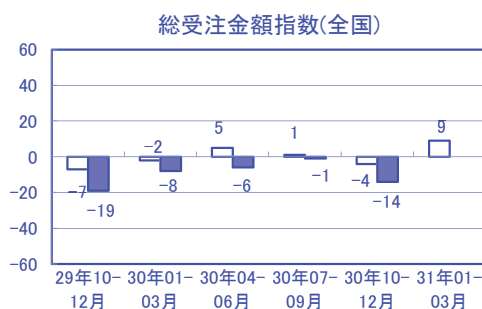
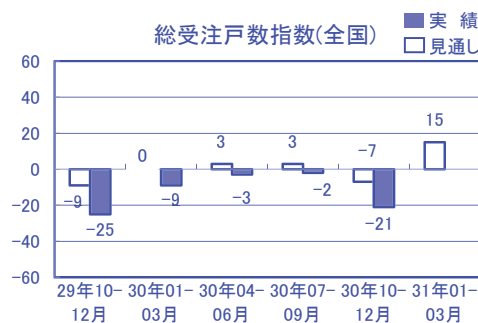


◎顧客動向について ・引き合い件数

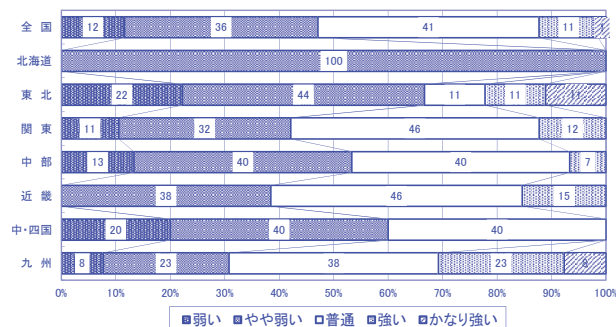


「低層賃貸住宅」

◎対前四半期比 受注戸数・金額の指数動向

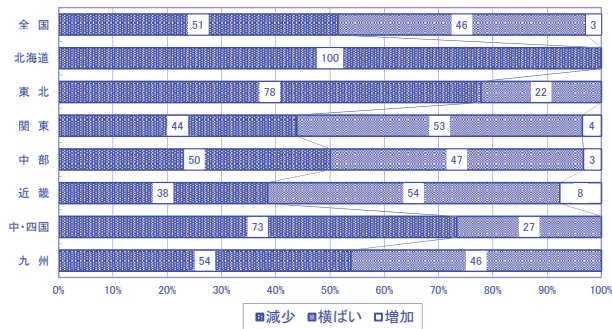


◎低層賃貸住宅経営者の供給意欲



◎顧客動向、市場動向について

・金融機関の融資姿勢（積極性）



* 調査報告の詳細については、住団連 H.P からご覧いただけます。 <https://www.judanren.or.jp/>

◇建築規制合理化委員会 遠藤先生ご講演（2月26日(火)）

遠藤和義先生（工学院大学副学長 建築工学科教授）
演題「住宅産業のプレゼンスをいかに持続させるか」

住団連建築規制合理化委員会では、年1回、会員の啓発の為、有識者を招聘しご講演をいただき、意見交換を行っています。今年は、工学院大学の遠藤先生をお招きし表題のご講演をいただき、終了後に先生を囲んで懇親会を行いました。簡単にその模様をお伝えします。

建築は、環境への配慮や、安全性、生産性、経済性など、私たちの生活と関係が深く、極めて社会的な存在であることから、広い知見が求められており、近年、建築に関わる領域は拡張を迫られています。このような課題を解決すべく、遠藤先生は「プロジェクトマネジメント」、「建築生産システム」の研究に取り組んでおられます。

ご講演は、先生の専門領域に限らず、広くご経歴の中や、師事された先生方から得られた教訓を基に、住宅生産システムの生き立ち、少子高齢化、人口減などこれからのわが国が抱える課題と中期の展望について、海外の事例もご紹介いただきながら、多くの示唆をいただきました。我々住宅産業にとって非常に身近であり興味深くお話しでした。



◇ウィズガスCLUB主催『第12回全国親子 クッキングコンテスト』開催される。

ー過去最多の募集数 60,747 組の中からグランプリ決定ー

2018年1月27日（日）第12回ウィズガス全国親子クッキングコンテスト全国大会が開催されました。全国大会には、過去最高となる応募総数 60,747 組の中から地区予選を勝ち上がった9地区 11 組の親子がその腕前を競いあいました。出場者は、コンテストのテーマ『「わが家のおいしいごはん」～家族で一緒に作ろう、うちの自慢メニュー～』に沿って考案したメニューを、60分の制限時間内に4名分調理し、服部幸鷹氏など3名の審査員によって審査が行われました。審査の結果、グランプリに中国地区代表の青井姫奈さん・恵理さん親子が選ばれ、準グランプリには四国地区代表の氏原陽月さん・詩子さん親子と、北陸地区代表の大森清良さん・百合子さん親子、近畿地区代表の岡田凱さん・さと子さん親子が選ばれました。



グランプリに選ばれた青井さん親子は、昨年の第11回同大会に出場したもののグランプリには届かず、リベンジをかけて応募され、見事グランプリに輝きました。

出場者親子の皆さんは、料理を通じて親子や家族の絆をより深め、本戦までの準備期間も含め、家族の絆を育む貴重な時間を過ごした大会となったのではないのでしょうか。住団連からは、一宮事務局長が住団連賞（準グランプリ）のプレゼンターとして参加いたしました。



<委員会活動(1/16~2/15)>

【運営委員会】

◎第275回運営委員会 (2月13日)
(審議事項)

1. 専門委員会委員の推薦に関する件。
2. 2019年度(平成31年度)特別会費(分担案)に関する件

(報告事項)

1. 消費者安全調査委員会報告書(住宅用太陽光発電システムから発生した火災事故)対応について
2. 平成30年(H30.1.1~12.31)の低層住宅労働災害発生状況調査の実施について。
3. 環境委員会への追加委員推薦のお願いについて
4. 各専門委員会活動状況報告(H30.4月~H30.12)について(Part.1)

【政策委員会】

◎広報戦略検討PT (2月15日)

- ・H.Pリニューアルについて ⇒メンバーにて最終案のチェック。
- ・機関誌の刷新について ⇒テーマ、メンバーでの対応範囲等について意見を出す。

【専門委員会】

◎住宅性能向上委員会 SWGI (1月22日)

- ・性能向上委員会来期活動計画について ⇒計画案について討議。
- ・点検の対象とならない低床仕様について報告。⇒大和ハウスより愛知県との交渉結果報告。
- ・社整審第18回建築環境部会について ⇒1/18の概要報告、第2次報告案が決議された。
- ・基礎断熱評価法 TGについて ⇒1/21の概要報告。
- ・戸建 ZEH の定義パブコメ提出について ⇒パブコメ提出報告。
- ・第2回長期優良住宅のあり方に関する検討会について ⇒12/20の概要報告、西澤リーダーよりプレゼン発表された。
- ・シックハウス問題に関する検討会について ⇒渡辺委員より中間報告の概要を報告。
- ・東京エコハウス(仮称)の仕様について ⇒星島委員より報告。

(2月8日)

- ・性能向上委員会来期活動計画について ⇒計画案について討議。
- ・評価協建設評価電子化打合わせについて ⇒1/23の概要報告。
- ・第3回長期優良住宅制度のあり方に関する検討会について ⇒1/29の概要報告。

- ・ZEH Oriented の扱いについて ⇒要望概要報告。

- ・東京ゼロエミ住宅について ⇒報道概要報告。

- ・【省エネ】β版プログラム(Ver2.6β1)の公開について ⇒概要報告。

◎住宅性能向上委員会 SWGI (1月30日)

- ・性能向上委員会来期活動計画について⇒計画案について討議。

- ・住宅事業者向け建築物省エネ法講習会の申込状況⇒アンケートフォロー検討。

- ・省エネ住宅消費者普及 TF 活動状況について ⇒1/26大阪ガスハグミュージアムセミナー報告⇒小冊子配布状況を確認。

- ・来年度取組内容検討 ⇒事業者向け、消費者向けアンケート等を討議。

◎IoT等先進技術活用 WG (2月8日)

- ・消費者安全調査委員会「住宅用太陽光発電システムから発生した火災事故等」の説明及び対応について ⇒1月28日に公表された報告書について報告した。⇒住団連として作成している、消費者向け広報ツールとなる「リーフレット」、住宅販売会社向けの「Q&A集」について報告した。

◎住宅ストック研究会 (1月16日)

- ・「リフォーム 多能工化推進策」の今後の進め方について ⇒12月10日「住宅ストック委員会」にて、委員より指摘のあった3項目を報告。

- ・「500万円未満のリフォーム工事の対応について」、ご講話 ⇒積水化学工業(株)岩城講師より、「500万円未満のリフォーム工事の対応について」ご講話いただき、以下2項目の提案①請負金額の上限引き上げの妥当性、②住宅リフォーム事業者団体登録制度の積極活用。

- ・今後の活動の進め方について ⇒リフォームの工事現場において、「本当に困っている具体的な事例」を再度ヒアリングし、重要かつ優先課題を集約・整理。

(2月5日)

- ・「リフォーム多能工化」に関しての現場ヒアリングについて ⇒委員5社より、建設業法における「請負金額500万円の壁」および「専門職種29業種の壁」について、リフォームの現場で本当に困っていることをヒアリングの上報告し、今後の検討課題を抽出。

- ・「ライフスタイルリフォームアドバイザー資格」について ⇒(一社)輸入協の橋本委員より、同協会が行っているリフォーム人材育成のための同資格制度の概要について報告し、委員との質疑応答。

◎消費者制度検討委員会 (2月15日)

- ・匠総合法律事務所 秋野弁護士のご講話 ⇒消

費者庁公表の「住宅用太陽光発電システムから発生した火災事故等」に関する調査報告書の発表に関連したクレーム対応マニュアルを元に、消費者に対する住宅事業者とPVメーカーの、今後の対応策について解説。

- ・浴野委員より、取り組み事例の報告 ⇒旭化成ホームズ(株)の、「災害対応に関する住宅メーカーの役割」と題した事例報告。
- ・中川委員より、取り組み事例の報告 ⇒(一社)木住協の、「災害時木造応急仮設住宅建設協定締結に向けた活動」との事例報告と、北陸支部主催セミナー「刑事塾」の紹介。
- ・国交省「住宅瑕疵担保履行制度のあり方に関する検討会」について ⇒同制度が施行されて10年経過し、国交省主催「検討会」において供託に係る保証金見直しの要否が議論されているため、企業委員よりヒアリング。

◎環境行動分科会 (1月28日)

- ・環境委員会 2019年度活動計画について ⇒検討を行いSDGSを活動項目へ加えることとなった。
- ・産業廃棄物分科会 平成30年度活動状況ならびに2019年度活動計画について ⇒平成30年度の活動状況と2019年度の活動計画を確認した。
- ・産業廃棄物分科会の今後のありかたについて ⇒産業廃棄物分科会2019年度の活動計画を検討し産業廃棄物分科会を環境委員会へ統合することが承認された。

◎産業廃棄物分科会 (1月21日)

- ・産業廃棄物分科会の活動報告と2019年度の活動計画について(環境委員会への報告内容確認) ⇒確認を行い、2019年度も従来と同様のやり方で行う産業廃棄物の適正処理講習会を活動計画に追加し、環境委員会の判断を仰ぐこととなった。
- ・第3回建築物の解体・改修等における石綿ばく露防止対策等検討会ワーキンググループについて ⇒WG出席委員より資料内容ならびに議事内容についてご説明いただき、意見交換を行った。
- ・石綿含有仕上塗材解体現場での気中濃度測定進捗状況 ⇒委員所属会社の現場で行った気中濃度測定結果を確認した。
- ・適正処理講習会 静岡会場のアンケート結果について ⇒アンケート結果の確認を行った。
- ・産業廃棄物の排出及び処理状況(平成28年度)について ⇒平成28年度の排出・処理状況を確認した。
- ・産業廃棄物の不法投棄の状況(平成29年度)について ⇒平成29年度の不法投棄の状況を

確認した。

◎建築規制合理化委員会 WG (1月22日)

- ・リフォーム工事関係の要望について ⇒今後の伸展のために重要な工事を、性能維持、向上、高齢者対応の視点で抽出する。 ⇒STEP1として上記を整理し次回WGで検討する。 ⇒STEP2,3として関連法令上の課題整理、リフォーム特有の課題を整理する。
- ・基整促の報告 ⇒基整促F13、F14について参加委員より報告。
- ・外壁に張出す表面材に関する解説について ⇒草案に対する意見を募集する。
- ・区画貫通部材の告示化について ⇒素案に対する追加のニーズを収集する。
- ・ブロック塀の安全性確保について ⇒第2回連絡会議の報告。行動指針の中のチェックリスト、啓発チラシが完成。 ⇒住団連の活動を別途委員へ報告する。
- ・建築規制合理化委員会の平成31年度活動計画について ⇒基整促への参加を追記する。

◎基礎・地盤技術検討 WG (1月17日)

- ・SWS試験のJIS改定の進捗状況について ⇒1年かけて原稿作成の予定、進捗状況については随時当WGにて報告。
- ・ベターリング「地盤改良指針」の改定の進捗状況について ⇒3会場で説明会が実施された。
- ・日本建築学会「小規模建築物基礎設計指針」改定委員会の進捗状況について ⇒「小規模建築物」の適用範囲の議論について説明。 ⇒WGとして項目追記して欲しい内容を取捨選択した結果について精査する。
- ・建築技術コンソーシアムにおける進捗状況について ⇒告示第1113号第2への動的貫入試験による支持力算定内容追記のための調査を実施する。

◎建設業法勉強会 (1月24日)

- ・技術者の専任緩和に向けて、施工現場の実態についての報告。 ⇒傘下の2団体より実態報告と意見交換。
- ・工事現場におけるIT活用について ⇒会員企業より活用事例報告と意見交換。

◎国際交流委員会 (2月7日)

- ・2019年度事業計画について ⇒海外視察研修会の実施、諸外国の業界団体との意見交換・情報提供等とした。
- ・2019年度海外視察研修会の実施について ⇒9月中旬にヨーロッパの2か国での実施を検討した。
- ・海外における各住宅メーカーの主な海外事業展開について ⇒各委員に自社の情報提供を依頼し、今年度中に作成することとした。